

自局紹介



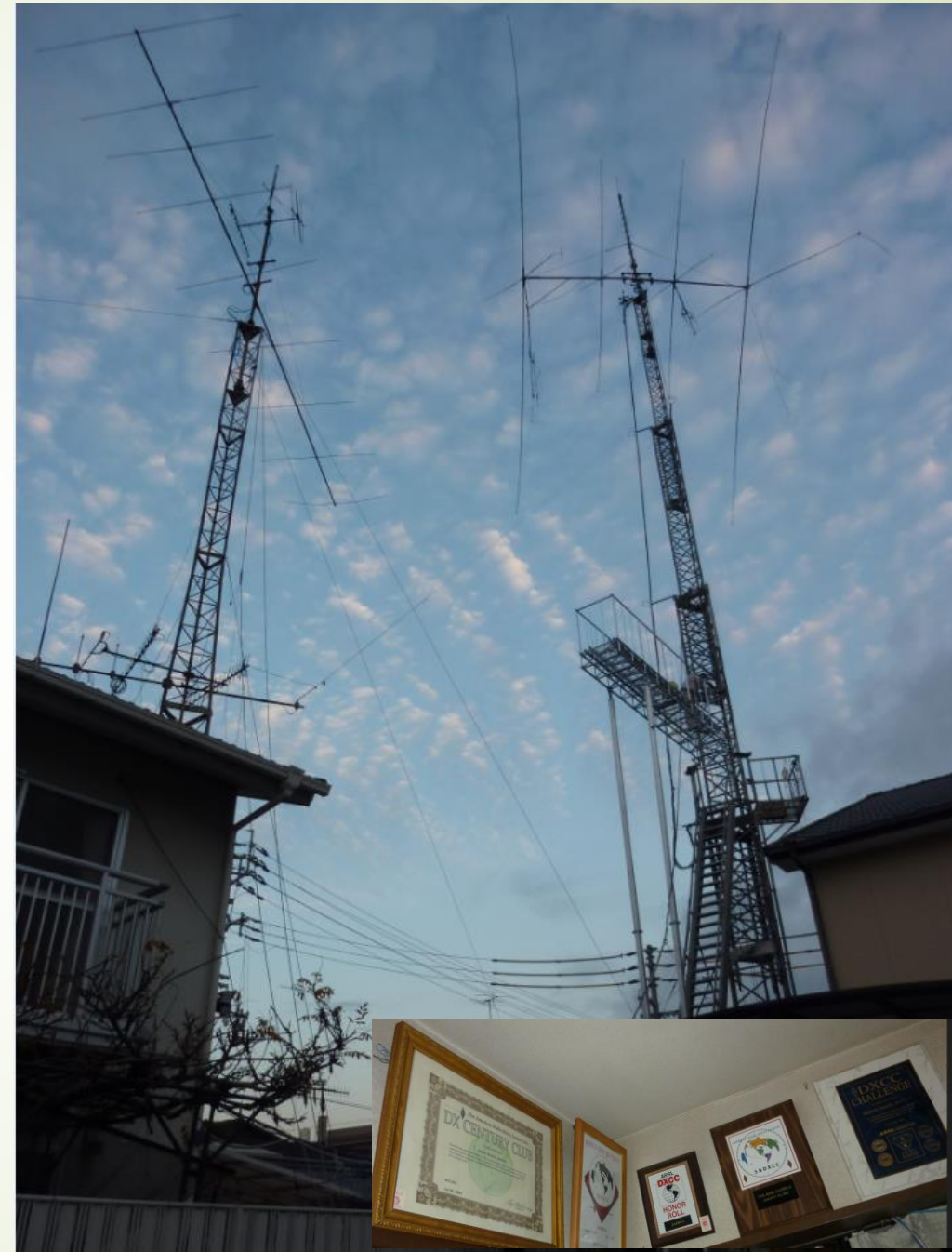
★ その他

記事：もぎたてTV、月間FBニュース、CQ誌（3回）、
月間59、愛媛新聞、2019年愛媛ハムの集いで運用編説明

DXCC：約50年かかって完了、JARL永久会員

作成ソフト：BGALOG、BGARTC、BGATARM

※ **無線機** 2台、**RTC** 2台、**アンテナ切替**、**レポート**（LOTW、
クラブログ、EQSL等）全てBGALOGでコントロール



FT8 入門 (導入編)

- ▶ FT8のメリット・デメリット
 - ▶ 交信事例
 - ▶ 必要な設備・スペック・注意点
 - ▶ 免許の手続き
 - ▶ コムポートの設定
 - ▶ 運用周波数
 - ▶ ソフトウェア取得先 (JTDX)
 - ▶ ソフト設定の注意点 (各設定画面)
 - ▶ 実際の運用説明 (ペディション局を含む)
- などを交えて記載しています。

BGALOG画面の一部

Call Sign	Mode	Time	Signal
CQ BH4BNO PM01	OR BY (7)-D	FF FFFFF	
DH2SK R2ET/9 -15	OR UA1 (1)	: F	
YE3DGO RU6FS LN24	OR UA1 (0)	:	
SP6AXW R9HCW -19	-R UA0 (0)	:	
F4GPB RA9H -13	-R UA0 (1)	: F	
BG8EPV/QR/UR3IME KN98	OR UT (0)	:	
ZL1BG RC0CD -20	-R UA0 (0)	:	
BD4IAA BH3WBQ -09	OR BY (0)	:	
R3PLV R150AV 73	OR UA1 (0)	:	
R3DBR YF4FDB R-17	OR YB (0)	:	
UV711 JR1FYS -12	OR JA (0)	:	
CQ R2ACC K085	OR UA1 (0)	:	
BG2ATH R4ABB -18	OR UA1 (0)	:	
==== Time = 57 : 45 ===== Frq = 10.136 =====			
KA2HTV R3BB RR73	OR UA1 (1)	: F	
CQ LZ3CB KN32	OR LZ (1)	: F	
RU6FS YE3DGO -12	OR YB (0)	:	
CQ BG2ATH PN26	OR BY (4)	F:FFF	
CQ R2AL K085	OR UA1 (1)	: F	
R9HCW BD4TXE OM94	OR YB (0)	:	
R150AV UB90AA -06	-R UA0 (0)	:	
F4DVO RK4FF RR73	OR UA1 (6)-D	FF FFFFF	
W4FID VK4TW RR73	OR VK (0)	:	
AP21N BG8EPV/QR/	OR YB (0)	:	
M10NWA YB2CPO O152	OR YB (0)	:	
CQ BD6OW OM70	OR YB (0)	:	
KA2HTV YC2XWV -18	OR YB (3)	F: F F	
SM2MGO R4GR L023	OR UA1 (3)	: FFF	
R150AV R0SAU -11	-R UA0 (0)	:	
==== Time = 58 : 00 ===== Frq = 10.136 =====			
CQ R2ACC K085	OR UA1 (0)	:	
CQ YC8AYJ O194	OR YB (0)	:	
407CC JJ7KKM -16	OR JA (0)	:	
DH2SK R2ET/9 -15	OR UA1 (1)	: F	
...> IK4LZH JN54	OR I (5)	: F F	
CQ LZ6DX KN23	OR LZ (0)	:	
DL2VC R6FFB 73	OR UA1 (1)-D	: F	
F4GPB RA9H -13	-R UA0 (1)	: F	
BG8EPV/QR/UR3IME KN98	OR UT (0)	:	
YE3DGO RU6FS R+02	OR UA1 (0)	:	
BG2ATH R4ABB -18	OR UA1 (0)	:	
YE3DGO RX0AT -19	-R UA0 (0)	:	
SP6AXW R9HCW -15	-R UA0 (0)	:	
CQ BH4BNO PM01	OR BY (7)-D	FF FFFFF	
R3DBR YF4FDB R-17	OR YB (0)	:	
OZ4NE Y03GNF KN34	-R YO (2)	F: F	

JTDX画面

File 表示 モード デコード 保存 AutoSeq Dxpedition その他 言語選択 ヘルプ

UTC dB DT Freq 平均=0.07 Lag=-0.98/16 Band Activity 14.074 000 12:58:24 TX 15/45

UTC	dB	DT	Freq	Message	Rx	Frequency
125730	-21	-0.4	2098	CQ R2ACC K085	*UA	
125730	-13	-0.1	1889	BG2ATH R4ABB -18	*UA	
05.09.22 12:57:58 UTC 20m						
125745	-5	-0.2	735	KA2HTV R3BB RR73	*UA	
125745	-18	0.2	468	CQ LZ3CB KN32	*LZ	
125745	-9	0.3	1735	RU6FS YE3DGO -12	*YB	
125745	-7	0.0	1891	CQ BG2ATH PN26	*BY	
125745	-3	0.1	1652	CQ R2AL K085	*UA	
125745	-12	-0.2	1002	R9HCW BD4TXE OM94	*BY	
125745	-16	-0.2	1445	R150AV UB90AA -06	*UA9	
125745	-16	0.1	2041	F4DVO RK4FF RR73	*UA	
125745	-7	0.1	2330	W4FID VK4TW RR73	*VK	
125745	-1	0.6	1563	AP21N BG8EPV/QR/	*BY	
125745	-13	0.2	1188	M10NWA YB2CPO O152	*YB	
125745	-5	-0.7	1308	CQ BD6OW OM70	*BY	
125745	-19	0.1	2195	KA2HTV YC2XWV -18	*YB	
125745	-18	0.4	1281	SM2MGO R4GR L023	*UA	
125745	-16	0.0	2216	R150AV R0SAU -11	*UA9	
05.09.22 12:58:13 UTC 20m						
125800	-14	-0.4	2099	CQ R2ACC K085	*UA	
125800	-6	0.1	1884	CQ YC8AYJ O194	*YB	
125800	-15	0.2	2416	407CC JJ7KKM -16	*JA	
125800	-4	-0.0	2707	DH2SK R2ET/9 -15	*UA9	
125800	-11	0.4	362	...> IK4LZH JN54	*I	
125800	-15	0.1	1928	CQ LZ6DX KN23	*LZ	
125800	-14	-0.1	1220	DL2VC R6FFB 73	*UA	
125800	-7	0.1	1380	F4GPB RA9H -13	*UA9	
125800	-7	0.0	1683	BG8EPV/QR/UR3IME KN98	*UR	
125800	-10	0.0	2487	YE3DGO RU6FS R+02	*UA	
125800	-18	-0.1	1891	BG2ATH R4ABB -18	*UA	
125800	-11	0.1	1166	YE3DGO RX0AT -19	*UA9	
125800	-10	0.0	1002	SP6AXW R9HCW -15	*UA9	
125800	-20	0.1	916	CQ BH4BNO PM01	*BY	
125800	-13	0.1	1637	R3DBR YF4FDB R-17	*YB	
125800	-16	0.0	1046	OZ4NE Y03GNF KN34	*YO	

★ 入門編者のハードソフトの設定などを中心にとの依頼から、他の入門編にあまり記載の無い機器の設定、JTDXの設定、運用時必要な部分を中心として作成し、一般的な運用面やFT8の経緯などの説明はネットなどで見ていただくこととして省略し、他のマニュアルにないハードソフトで知っていただきたい部分を中心として作成しています。
JTDXの設定については、当方の設定を参考で後半に添付しました。
プロシクターのみでは理解しにくいと思いますので、2019年の運用編とともにEDXGのホームページに掲載しています。

スカイプでコールサインを検索して呼んでいただければ
問題点のアドバイスが可能です。(de J A 5 B G A)

運用編

は次を参照願います。

www.dokidoki.ne.jp/home2/ja5bga/ → [ft8\(ft4\)](#)と**bgalog** を参照 (ja5bga.com : 自宅サーバー)

2019/09の公演内容 →
今回の資料をアップして
います

HAMQTH.COM
[FT8\(FT4\)入門](#)
[FT8\(FT4\)とBGALOG](#)
[eQSLホームページ](#)

自局宛eQSL打ち

QSLマネージャ検索
利用方法: 上を呼び → [Ctrl]+[F] → DX局等) 呼び検索

★検索関連★
JARLメンバー検索
CallBook & Manager 検索
ペディション状況
コンテストカレンダー
QTHロケータ

★DX情報関連★
HamCall.NET
QRZ.COM
HAMQTH.COM
FT8(FT4)入門
FT8(FT4)とBGALOG
eQSLホームページ

自局宛eQSL打ち
検索入力
Search

★愛媛県、伊予市、地域紹介★
愛媛の紹介 (いよ観ネット)
伊予のホームページデータベース

★JA5BGA関連★
JA5BGA.com サーバー
BGA_LOG New Version Check
BGA_LOG ダウンロード
BGA_LOG 履歴 (履歴) 状況
BGA_LOG 紹介 (業務日誌)
BGARTC 紹介 (e-テータ) (H1-1)
BGARTC2 紹介 (e-テータ) (H1-1)
BGASwitch 紹介 (リモートスイッチ)

★メンバーホームページ★
JA5BGA
JA5DBE
JA5XAE
JESJHZ
JH6RTO

★リンク★

なってください。詳細な記事が記録されています。

EDXG
SINCE 1970
Ehime DX Group

[EDXG = 愛媛DXグループ (アマチュア無線を通じて、世界のHAM仲間と交際を目的としたグループです。)]

EDXG (「愛媛DXグループ」アマチュア無線) Homepage (dokidoki.ne.jp)

メリット

FT8：現在、最も利用されているモード

- **SN比が良い**：省電力で十分（大きなアンテナを必要としない）
アパート等の1FのベランダアンテナでもDXQSOが可能
コンディションが悪くて他のモードで聞こえていない場合でも見える
- **ハイスピードQSO**：1分以内の交信が可能（15秒サイクル）
FT4にするとFT8の約1/2の時間（7.5秒サイクル、FT8より約10dB減）
（QSOパターン：次ページ）
- オンエアーする**周波数**がほぼ**半固定化**されておりたくさんの局を一度に確認できる
見える局は交信できる
- **狭帯域**わずか3Kc（SSB並）の間で多くの局が出れる（約50Hz：60局）

デメリット

- **QSO感がない**：簡単に交信出来てバースタフQSOのためにわくわく感が少ない
（送信できるデータが72(+3予備)バイトと少なくパターン化し、自由文作成が難しい）
- **コムポート、LOGブック、サウンド、JTDXなどの設定が煩わしい**
特に**無線機の設定**（最近はよくなりつつあるがリグごとに設定が異なる）

交信事例 (相手CQ時の流れ)

AutoTX = 自動送信
 AutoSeq2 = 半自動メッセージ送信

相手局	自局 <input checked="" type="checkbox"/> SkipTx1
CQ DX E6ET AH50	
	E6ET JA5BGA -10
JA5BGA E6ET R-05	
	E6ET JA5BGA RR73
JA5BGA E6ET RR73	

相手局	自局 <input type="checkbox"/> SkipTx1
CQ DX E6ET AH50	
	E6ET JA5BGA PM63 (省略してコール可)
JA5BGA E6ET R-05	
	E6ET JA5BGA -10
JA5BGA E6ET RRR	
	E6ET JA5BGA RR73

定型文作成 CQ RRR SkipTx1

1 YC1DGL JA5BGA PM63 省略 Tx 1

2 YC1DGL JA5BGA -08 相手コール Tx 2

YC1DGL JA5BGA R-08 Tx 3

YC1DGL JA5BGA RR73 Tx 4

YC1DGL JA5BGA 73 Tx 5

CQ JA5BGA PM63 Tx 6

■ チェックON

コール時点で自局のGLを入れなくて「Tx 2」から呼ぶとショートQSOとなります。(自局GL省略)
 GLは送信しなくともリストから相手へ自動で入ります。

送信が完了すると自動的にログ (BGALOG側では全て自動で処理) ヘデータを書き込みます。

交信確認等 ファイル

デコードしたデータ：「**202209_ALL.TXT**」に保管されています。（部分抽出したもの）
 20220906_07**4330**.084(0) Transmitting 14.074 MHz + 2517Hz FT8: **4W/JH2EUV JA5BGA -15**
 20220906_074345 -18 -0.3 448 ~ **JA5BGA 4W/JH2EUV R-07** *
 20220906_074400.050(0) Transmitting 14.074 MHz + 2517Hz FT8: **4W/JH2EUV JA5BGA RR73**
 20220906_07**4415** -16 -0.3 448 ~ JA5BGA **4W/JH2EUV 73**
 毎月作成されるので過ぎた月のものは不要であり削除します。

GL省略で1分未満で交信終了

QSOしたデータは、「**wsjtx_log.adi**」に保存されています。（Adif Master (XMLデータ一覧表示ツール)にて確認）

Line	CALL	GRIDSQUARE	MODE	RST_SENT	RST_RCVD	QSO_DATE	TIME_ON	QSO_DATE_OFF	TIME_OFF	BAND	FREQ	STATION_CALLSIGN	MY_GRIDSQUARE	EQSL_QSL_SENT	SUBMODE
8344	WOLEN		FT8	-20	-20	20220830	074045	20220830	074214	30m	10.138573	JA5BGA	PM63is	Y	
8345	4W/JH2EUV	PM86	FT8	-15	-07	20220906	074330	20220906	074414	20m	14.076517	JA5BGA	PM63is	Y	

JTDXはGLを送信しなくとも「**CALL3.TXT**」から自動で取得します。（3万5千件弱が登録されています。）
 また、データがデコードできなかった場合はこのファイルから補正されてデコードされます。

```

11122 JA5AQC,PM63,, ,
11123 JA5AQV,PM63,, ,
11124 JA5ARW,PM64,, ,
11125 JA5AUC,PM63,, ,
11126 JA5AZO,PM63,, ,
11127 JA5BDZ,PM64,, ,
11128 JA5BEN,PM63,, ,
11129 JA5BFK,PM63,, ,
11130 JA5BGA,PM63,, ,
11131 JA5BIS,PM63,, ,
    
```

フォルダー →

ファイル 表示 モード デコード

- 開く
- ディレクトリ内の次のファイル
- ディレクトリの残りのファイル
- Save ディレクトリの全ての*.w
- ALL.TXT を消去
- QSO LOGファイル wsjtx_log. ad
- wsjtx_log.adi を開く
- ログディレクトリを開く**
- 設定...

ISL Online Cache DX .ini

IsolatedStc

JA5BGA

JTDX

K7 Compu

Leawo

LightShip

LineCall

wsjtx_wisdom .dat

jt9_wisdom .dat

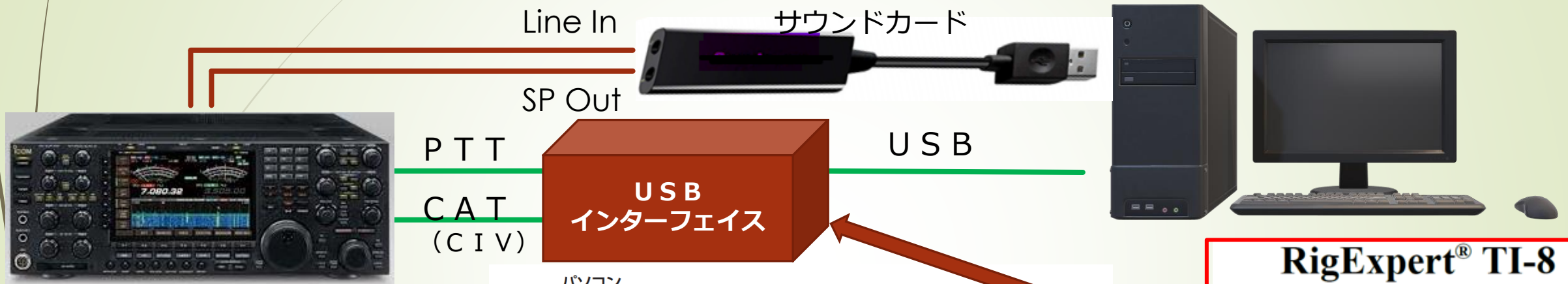
202209_ALL .TXT

wsjtx_log .adi

wsjtx .log

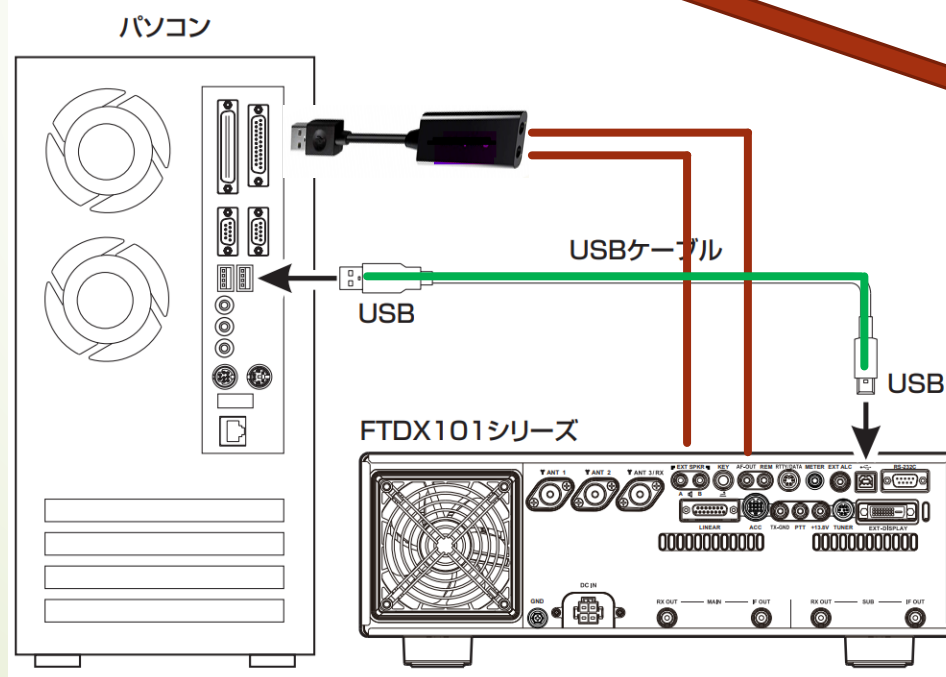
CALL3 .TXT

必要な設備 (古い無線機)



最新の無線機

USBインターフェイス
が不要



RigExpert® TI-8
USB トランシーバインターフェイス

RigExpert TI-8

ON CW PTT CAT FSX

Main Sub TX

YAESU

RX-EXCISE-TX

CIV用 [ICT-18 (CT-17) 等]

<http://ict-kuwa.net/ct18.html>

注意点

(FT8関係での相談の多い項目)

WIN10 → WIN11 のバージョンアップ時等に注意

毎月のアップデート：はデバイスが再認識されるので設定が異なる場合がある

バージョンアップ：無線関係のデバイスは標準的でない場合が多いことから取り外して置きアップデート後に取り付ける（デバイスが見つからないと途中でバージョンアップが停止する可能性がある）

★ **コムポート**： ログブックとのバッティングに注意（双方からコントロールされる）
（1対1通信のため、通常1つのポートの共用は出来ません）

※ C I Vはコリジョンに注意

★ **サウンド**： スカイプやシステムとの競合を避ける（サウンドカードを追加）
コーデックをFT8専用とする

★ **PCタイム**： NWタイムとすると回線速度により時間がずれ、
2秒以上のずれが生じると交信が不能の可能性有り

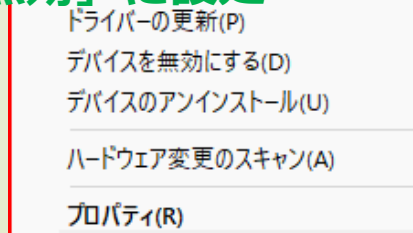
参考： FTDX101シリーズには、Enhanced（キャット通信用）とStandard（PTT等）
の2つのポートが作成される。（八重洲のRS-232Cは反転しているので注意）



3台のモニターのスピーカー →



アップデート時等によく問題の発生する未使用のデバイスは [無効] に設定



JTDXでのリグ選択と注意点

リグを選択すると次の方法でTCP接続（同期方式）で接続します。

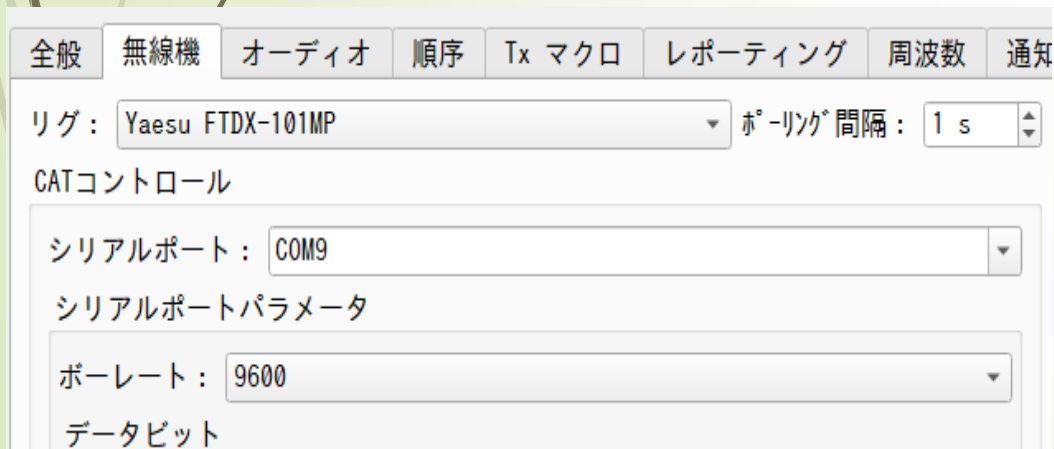
八重洲の場合は、CAT接続（LOGはよいが、アンテナ、RTC、等の大半はCIV接続）

アイコムの場合は、CIV接続（垂れ流し）

※ JTDXはリグ向けに同期方式でデータを要求し、返事がない場合はリグに問題があると表示してストップ
UDP：CIV垂れ流し方式

他のデバイスとの接続時の問題

アンテナ切替機：ほとんどがCIVでのコントロール：CAT接続時の場合はCIVへの変換（LIF-59等）が必要：FT101の場合は、JTDXとの接続はCOMポートを仮想ポートでなく次のようにRS232C接続
また、LOGブック側に仮想ポートを接続



八重洲の例

仮想ポート（2つのCOMポート）+ RS232c

Enhanced COM Port ログブックを優先させる

Standard COM Port 周波数NG

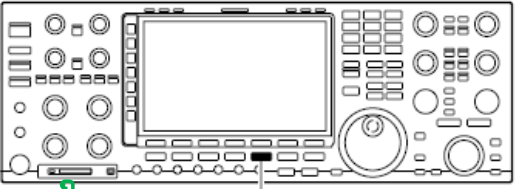
RS232c JTDX用（周波数OK）

※ ログブックを使用しない場合はRS232cは未使用としてEnhancedをJTDXで使用

複数無線機のコントロール事例を紹介

※ COM番号は使い分けの参考値です。

無線機 1 : IC-7800
FT 8 以外のモード



RS-232C端子 (COM3)
BGALOG無線機 1

B G A L O G コントロールライン

ANT-57 (1.9~50MHz)
(CI-V ハブ経由アンテナ切替機)

アンテナライン

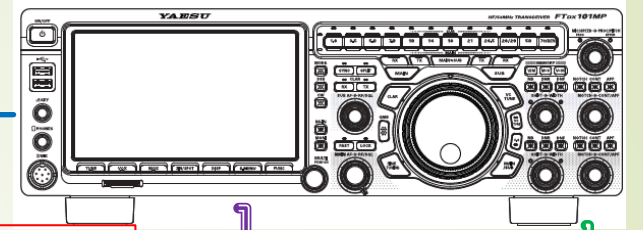
リモート端子

ICT-18
(CI-V ハブ)

これより先はCI-V接続

コントロール
CI-Vを基準としたコントロール
FTDX101MPにおいてはBGALOGからはCATでAIコントロールします。
ANT切替機等については、LIF59によりCAT⇒CI-V変換して統一を図っています。

無線機 2 : FTDX101MP
FT 8 (4)



RS-232C端子
(注:スレートケーブル、リバーケーブルは不可)

USB端子 (COM4)
BGALOG無線機 2

B G A L O G コントロールライン

BGALOGによるコントロール内容

- ・ 2台のリグ切替え
- ・ アンテナ自動切替え
- ・ ローテーターコントロール
- ・ FT 8、周波数、等々
- ・ IC-7800=COM3、FTDX101=USB仮想のCOM4

FT 8 コントロール

- ・ 都度の設定を変えないために無線機 2 を FT 8 専用
- ・ J T D XからのコントロールはCOM5を指定
- ・ 無線機 1 はその他のモードで使用
- ・ ポートはLIF-59のCOM6を指定
- ・ PTTはポートのCOM9を使用 (仮想4=BGALOG)

LIF59 (COM6)
(CAT ⇒ CI-V 変換)

JTDXライン ← アンテナライン

USB端子



FT8 CAT接続

無線機2使用
無線機1使用
無線機2使用
無線機3使用
無線機未使用



RTC
(COM6)
(COM7)
CIVコントロール

USB to RS-232Cケーブル

赤文字部分、RTCはJA4BUA桑原OMの作成です。

部分のみ手動切替え

必要スペック

無線機

作業項目	最新機種	古い機種	記事
無線機へデータ送信	マイク端子 (USB サウンドカードをお勧め)		USBサウンドカード ゲインに左右されない端子へ接続
無線機からのデータ受信	スピーカー端子 (USB サウンドカードをお勧め)		
P T TのON・OFF	USB接続、仮想コムポートを使用 (CAT・CIV) によりコントロール	USB⇒RS232C接続のための (CAT・CIV) への変換装置が必要：リグエクスポート、等 より古い機種はリグコントロールをあきらめる	
無線機の周波数の読み取り			

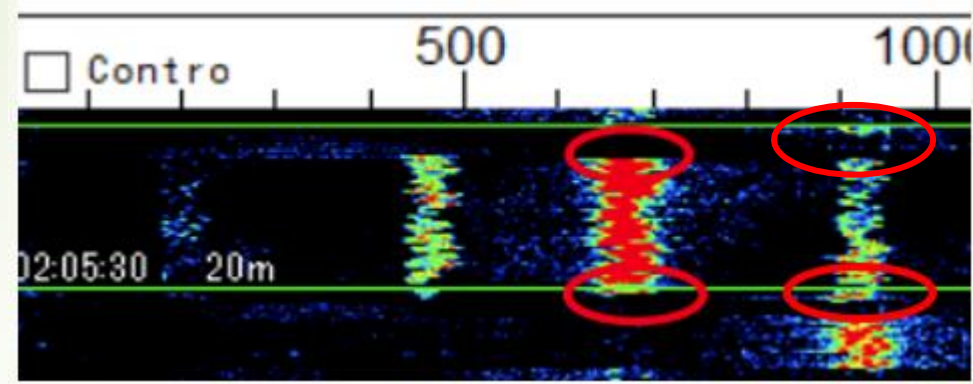
PC等

項目	記事
PCスペック	WIN8以降であればよし：但し、デコード能力を考えるとできる限りハイスペックを (運用局が多いときのデコード能力に影響が出ます)、WIN11はランサムウェアに強
ディスプレイ	1920×1080以上でログへの入力を考えると マルチディスプレイ が望ましい 状況によっては [マルチPC] でもよい
時計を正確に	ntpサーバーでの時刻補正もよいがGPS時計が望ましい

FT8で時間の注意点

デコードラインをまたぐ場合は強力な電波でもデコードされません

★ PCタイム： NWタイムとすると回線速度により時間がずれ、2秒以上のずれが生じると交信が不能の可能性有り
右のようなGPSによる制御を使用をお勧め



最近は次のような同期ボタンがあります。

送信開始	送信停止
ログに記録	消去
同期	SWLモード
AGCc	フィルター

この機能はインターネットでNTPサーバーで時計を合わせることができる方、GPSを使って時計を合わせることができる方には 必要のない機能です。移動運用などで時計合わせができない方には便利な機能です。

マウスの左ボタンでクリックすると、JTDXの内部時刻がシフトし、RXオーディオストリームに入力される信号にデコーダがよりよく同期するようになります。2つのシナリオがサポートされています。

- 粗い同期: ウォーターフォール上にシフトした信号があり、デコードされた信号がない場合、最小電力値がデコーダで使用されピリオドの開始までの時間シフトを評価します。
- より精密な同期: 前の区間でデコードした信号があり、平均DTが-0.19~0.19秒の範囲外である場合。平均 DT 値が JTDX のタイムシフトに使用されます。

粗い同期と精密同期の2回の試行には、少なくとも5ピリオドの間隔を空けることを推奨します。またこのタイムシフトにより、現在と次のピリオドのデコードが中断されることがあります。

注意

- コンピュータのクロック差が7.5秒以上ある場合、間違っ間合いでスポットを報告する可能性があり、QSOの開始/終了時刻にも影響を与える可能性があります。
- SDRソフトウェアのバッファリングによるRXオーディオストリームの遅延を補正しようとすると、TX信号のDTが誤った方向に影響されます。

マウスの右ボタンでクリックすると、JTDXの内部時刻をシステム時刻に戻します。



次の局はQSOが難しくなります。

142100	-4	0.0	2022	
142700	-9	0.4	2404	~
142700	-5	-0.1	1839	~
142700	-2	2.3	1492	~
142700	-15	0.0	555	~

免許の手続き：不要

【これまでの手続】 FT8電波型式「F1D」等(デジタルモード)の運用を行うために既設のアマチュア局の送信機に増設、取替と附属装置と一緒に追加し、電波の型式の追加を伴う変更申請は、保証業者による保証認定または検査が必要で、申請の際に工事設計書欄の記載と、資料として「無線設備系統図」及び「附属装置諸元表」を添付して申請する必要がありました。

【簡素化適用後の手続】 上記運用のために外部入力端子に附属装置を接続した場合は、電波の型式(個別の電波型式以外)が追加されても、保証等は不要となります。

個別の電波型式の追加(G7W等)の場合は、保証が必要です。

(JARL等のホームページで、運用可能なデジタルモード(ソフト)と認められた場合のみ使用できます。)

※無線局の開設と同時にFT8等(デジタルモード)の運用を行うために附属装置を追加する場合は、簡素化の対象とならず今までと同じ手続きが必要となります。

2 適用にあたっての留意点

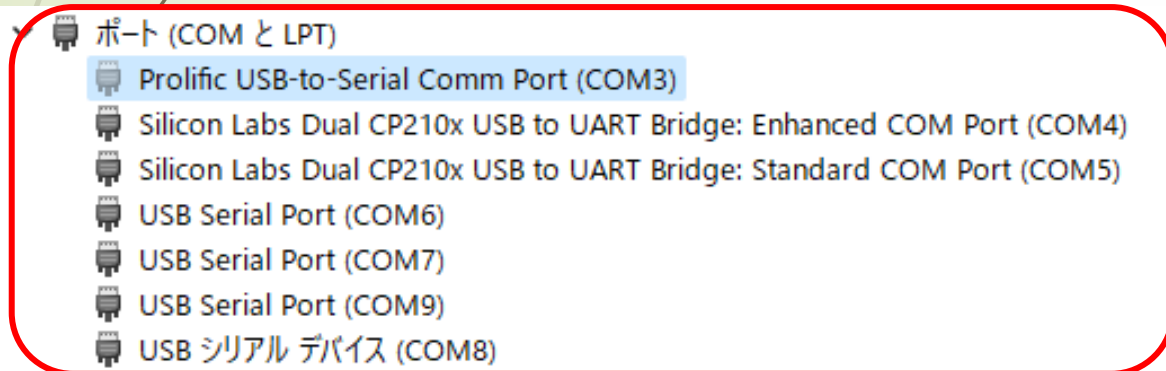
- 本件に係る手続については、次の留意点があります。対象となる附属装置は、送信機のマイク端子及びリアパネル端子の「外部入力端子」に接続するものになります。既に申請されている方でPC以外(FAX等)を接続する場合は、別途届出が必要となります。
- 対象となるデジタルモードは、JARL等のホームページで秘匿性について確認されたものとなります。
- 既設のアマチュア無線局が変更する場合は、技適機でなくても適用されます。
- 200Wを超えるアマチュア無線局は、上記申請に関しては同様の扱いとなります。

一部を省略しています。

COMポート設定例

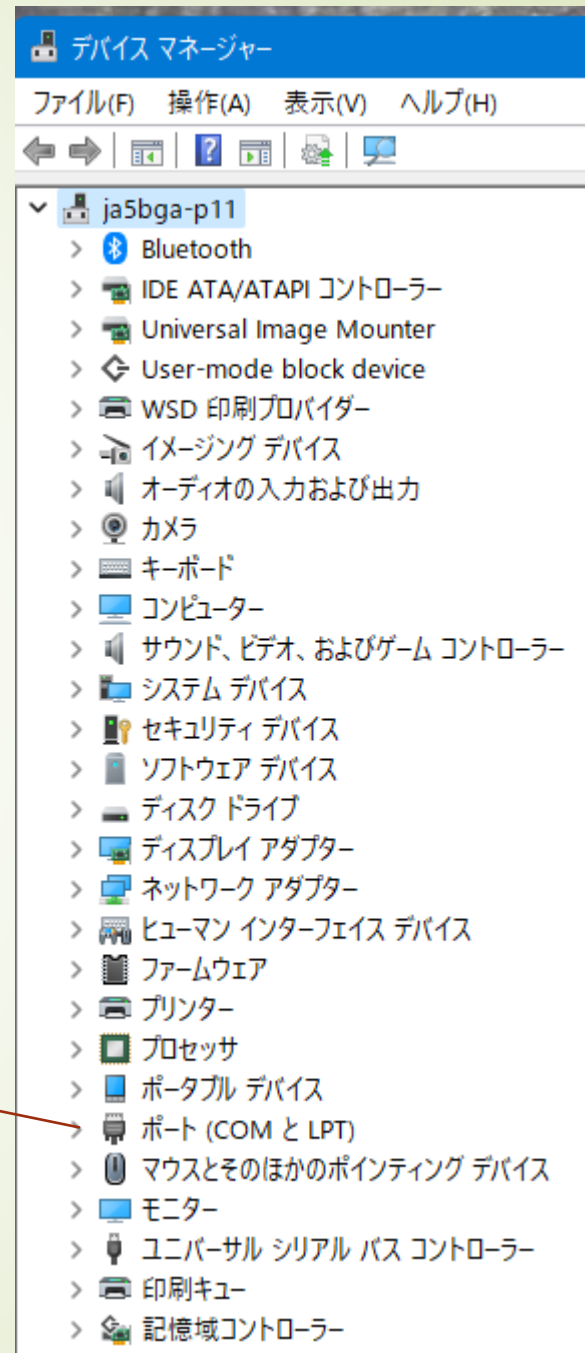
COMポート設定を確認

- COM3 : IC7800 (BGALOG リグコントロール)
- COM4 : FT101MP (BGALOG リグコントロール)
- COM5 : FT101MP (JTDXリグコントロール)
- COM6 : ローター1コントロール
- COM7 : ローター2コントロール
- COM9 : キャット信号⇒CIVへの変更 (アンテナ切替)
- COM8 : GPS (ポート名=USBシリアルデバイス)



デバイスに「その他***、不明な***」がある場合は正しく再設定を行っていない場合は、デバイスを調べて修正を行っておく必要があります。

(デバイスマネージャ)
エラーがないことを確認する必要があります。



無線機運用設定

FTDX101

ポートの使い方

Enhanced COM Port

BGALOG等で使用、CAT通信（周波数等）

Standard COM Port

PTT、CWキーイング、FSK制御に使用

RS-232C（八重洲はリバーズであることに注意：端子の雄と雌が異なります。）

JTDX等からのコントロール

通常のリグコントロールは「RS-232C」を使うことはありません。

BGALOG等のLOGBOOKでコントロールしようとするれば使用できるポートが足りません。そこで、JTDX側をRS-232に回して、メインのコントロールはログブックからとする方式をとっています。



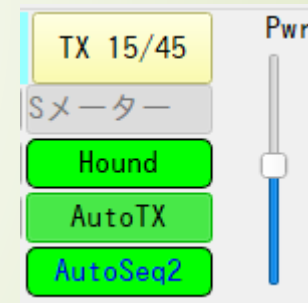
具体的な設定のページを参考で記載しておきます。
<https://jk1tcv.blog.fc2.com/blog-entry-2512.html>

主な運用周波数

(KHz)

BAND	FT8	FT4	記事
160m	1840/1909(JA)		1840使用可能
80m	3573/3531(JA-JA)	3575	
40m	7074/7041(JA-JA)	7047	
30m	10136	10140	
20m	14074	14080	
17m	18100	18104	
15m	21074	21140	
12m	24915	24919	
10m	28074	28180	
6m	50313	50318 or 50310	

ハ°デ`イ`ンモード



それぞれモードごとに異なります。

F/H (DXハ°デ`イ`ン) モードの場合は、テルネット等のアナウンスで確認する必要があります。
珍局で相手が500Kc以下の場合は注意が必要です。通常モードでは交信ができません。
ローバンドではバンドプランに注意してください。(JA間同士の周波数があります。)

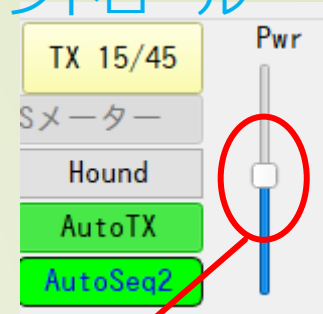
運用上の注意点

★ ローカル局への配慮

- ・ パワーについて（ALCを振らせない）右の「Pwr」で絞り込む
ローカル局であればいかに小さく絞ってもお互いにかぶります
- ・ CQを出す場合は、「TX 15/45」で運用
（ペディション局は「TX 00/30」が多くローカル局同士の懇親を避ける）
- ・ リグをスプリットモードで使用空いている場所からコールする
- ・ フェイクイット（リグ）を使用
右のいずれかに設定するとJTDXから周波数とキャリアをコントロールされます
これにより帯域内のお化け（高調波等）が少なくなります。

14.074.0 K7BG FT8
14.074.9 D2UY FT8
← リグに設定
← Fake It

スプリットを選択（リグが Fake It）される
サブ側 / メイン側 がコントロール



ALC（低く）



CQ運用例

チューン
 モニター
 バイパス
 1 QSO
 AnsB4
 停止

175330 Tx 2581 ~ CQ JA5BGA PM63
 175345 -9 -0.2 372 ~ JA5BGA RA6WF LN32
 175345 -7 -0.2 2057 ~ JA5BGA RA4ZA L036
 175345 -12 0.4 2581 ~ JA5BGA UA1RC -01
 175345 -16 -0.2 440 ~ JA5BGA PA3FPQ J022
 175400 Tx 2581 ~ RA4ZA JA5BGA -07

•UA
 •UA
 •UA
 •PA

181015 -13 -0.1 2770 ~ JA5BGA DL1CF J042
 181015 -13 2.5 2857 ~ JA5BGA DL1RNW -09
 181030 Tx 2581 ~ DL1CF JA5BGA -13
 181045 -14 -0.1 2770 ~ JA5BGA DL1CF R-11
 181045 -10 0.1 2857 ~ JA5BGA DL1RNW -09
 181100 Tx 2581 ~ DL1CF JA5BGA RR73

•DL
•DL

QSO終了時
自動表示

送信開始 送信停止 定型文作成 CQ RRR SkipT

QSOが終了すると登録OKボタンがでできます。
 OKボタンをクリックでJTDXからポト2333ヘデータ
 が送られてきます。

BGA LOG側ではPO-TO2333を絶えずチェックしてい
 ますので何も未作業でNWを自動検索後登録します。

JTDX v2.2.159-32A - Log QSO

QSO:を確認したら[OK]をクリックします:

コールサイン	開始時刻	終了時刻
DL1CF	13/09/2022 18:10:15	13/09/2022 18:11:14

モード	バンド	送信Rpt	受信Rpt	グリッド	名前
FT8	30m	-13	-11	J042	

Tx出力 保持する
 コメント 保持する
 EQSL MSG 保持する

OK Cancel

このボタン
押下のみ

削除 現時刻 日付検索
 リフレッシュ 日付順(Esc) 上書(F9) 受領 F10 期間 検索等 2022 09 13

コールサイン	日時	モード	送信Rpt	受信Rpt	グリッド	名前
RZ3AM	2022/09/13 18:22	FT8	10,136.0	-01	-02	

約30分
交信18局

コールサイン	日時	モード	送信Rpt	受信Rpt	グリッド	名前
RA4ZA	2022/09/13 17:54	FT8	10,136.0	-07	-01	

この資料を作りながらの30分弱で18局
 既に次へも自動アップ済で未作業
 BGAログ入力作業は全く不要

CQ運用例 (結果)

この資料を作りながらの30分弱で18局

既にLOTW、クラブログ、eQSLにも自動アップ済
ログ入力、レポート報告のための作業は皆無です

DX Call	Date	Band	Mode	Time	Country	Operator	QSO Date	Time On	Mode	Band	Power
JA5BGA	2022-09-13	340									
DL1CF	2022-09-13	30M	FT8	18:11	FEDERAL REPUBLIC OF GERMANY	HEINZ HILDEBRAND	20220913	1811	FT8	400W	
UA1RC	2022-09-13	30M	FT8	18:10	EUROPEAN RUSSIA	BORIS SEMENOV	20220913	1810	FT8	400W	
IK6FBB	2022-09-13	30M	FT8	18:07	ITALY	LUIGI PASQUALE	20220913	1807	FT8	400W	
US5EJ	2022-09-13	30M	FT8	18:03	UKRAINE		20220913	1803	FT8	400W	
HB9SNR	2022-09-13	30M	FT8	18:01	SWITZERLAND	GERARD EGGER	20220913	1801	FT8	400W	
DL7VF	2022-09-13	30M	FT8	17:59	FEDERAL REPUBLIC OF GERMANY	BOGDAN WYCISLO	20220913	1759	FT8	400W	
OE6JVE	2022-09-13	30M	FT8	17:56	AUSTRIA	JUERGEN VEIT	20220913	1756	FT8	400W	
2M0BHR	2022-09-13	30M	FT8	17:55	SCOTLAND	PETER MCCANN	20220913	1755	FT8	400W	
RA47A	2022-09-13	30M	FT8	17:54	EUROPEAN RUSSIA	ANDREY YATKIN	20220913	1754	FT8	400W	

LOTWアップロード
(更新の都度アップ)

クラブログアップロード
同上

eQSLアップロード
同上

交信のみすればOK

CQ交信開始

交信終了

Call	Date	Time	Band	Mode	Power	Offset
RA4ZA	2022/09/13	17:54	FT8	10.136.0	-07	-01
RZ3AM	2022/09/13	18:22	FT8	10.136.0	-01	-02

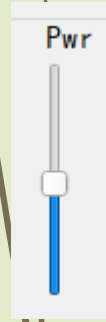
Country=[GERMANY] Land=[GERMANY] GL=[J042XD] 緯度=52.131600 経度=9.979900
 ※ 登録実施
 ★ LOTWreport = <CALL:5>DL1CF <QSO_DATE:8>20220913 <TIME_ON:4>1811<MODE:3>FT8 <BAND:12>400W

DL1CF 10.136.0 -13 -11 DL 230 HEINZ HILDEBRAND FEDERAL REPUBLIC OF GERMANY EU-14 / L E LOTW=USE

コールサイン	日付 時間	モード	周波数	HRS	MRS	アリア...	DX...	名前等	住所	マネージャ	P	ゾーン	T	R	L	E	備考1	IOTA	JCC	GL	Q	申請
DL1CF	2022/09/13 18:11	FT8	10.136.0	-13	-11	DL	230	HEINZ HILD...	FEDERAL REPUBLIC ...			EU-14	/	L	E	LOTW=USE			J042XD			
UA1RC	2022/09/13 18:10	FT8	10.136.0	-12	+00	UA1	054	BORIS SEME...	EUROPEAN RUSSIA			EU-16	/	L	E	LOTW=NO-USE BORN=1947			K099WF			
IK6FBB	2022/09/13 18:07	FT8	10.136.0	-11	-07	I	248	LUIGI PASQ...	ITALY			EU-15	/	L	E	LOTW=USE			JN62XS			
US5EJ	2022/09/13 18:03	FT8	10.136.0	-18	-05	UT	288		UKRAINE			EU-16	/	L	E				KN78			
HB9SNR	2022/09/13 18:01	FT8	10.136.0	-10	-15	HB	287	GERARD EGGER	SWITZERLAND			EU-14	/	L	E	LOTW=NO			JN36LQ			
DL7VF	2022/09/13 17:59	FT8	10.136.0	-18	-11	DL	230	BOGDAN WYC...	FEDERAL REPUBLIC ...			EU-14	/	L	E	LOTW=NO-USE			J062PO			
OE6JVE	2022/09/13 17:56	FT8	10.136.0	-13	-13	OE	206	JUERGEN VE...	AUSTRIA			EU-15	/	L	E	LOTW=OK BORN=1975			JN76SQ			
2M0BHR	2022/09/13 17:55	FT8	10.136.0	-14	-11	GM	279	PETER MCCANN	SCOTLAND			EU-14	/	L	E	LOTW=NO	EU-005		I075SO			
RA47A	2022/09/13 17:54	FT8	10.136.0	-07	-01	UA1	054	ANDREY YAT	EUROPEAN RUSSIA			EU-16	/	L	E	LOTW=NO BORN=1964			I036PC			

お化け対策

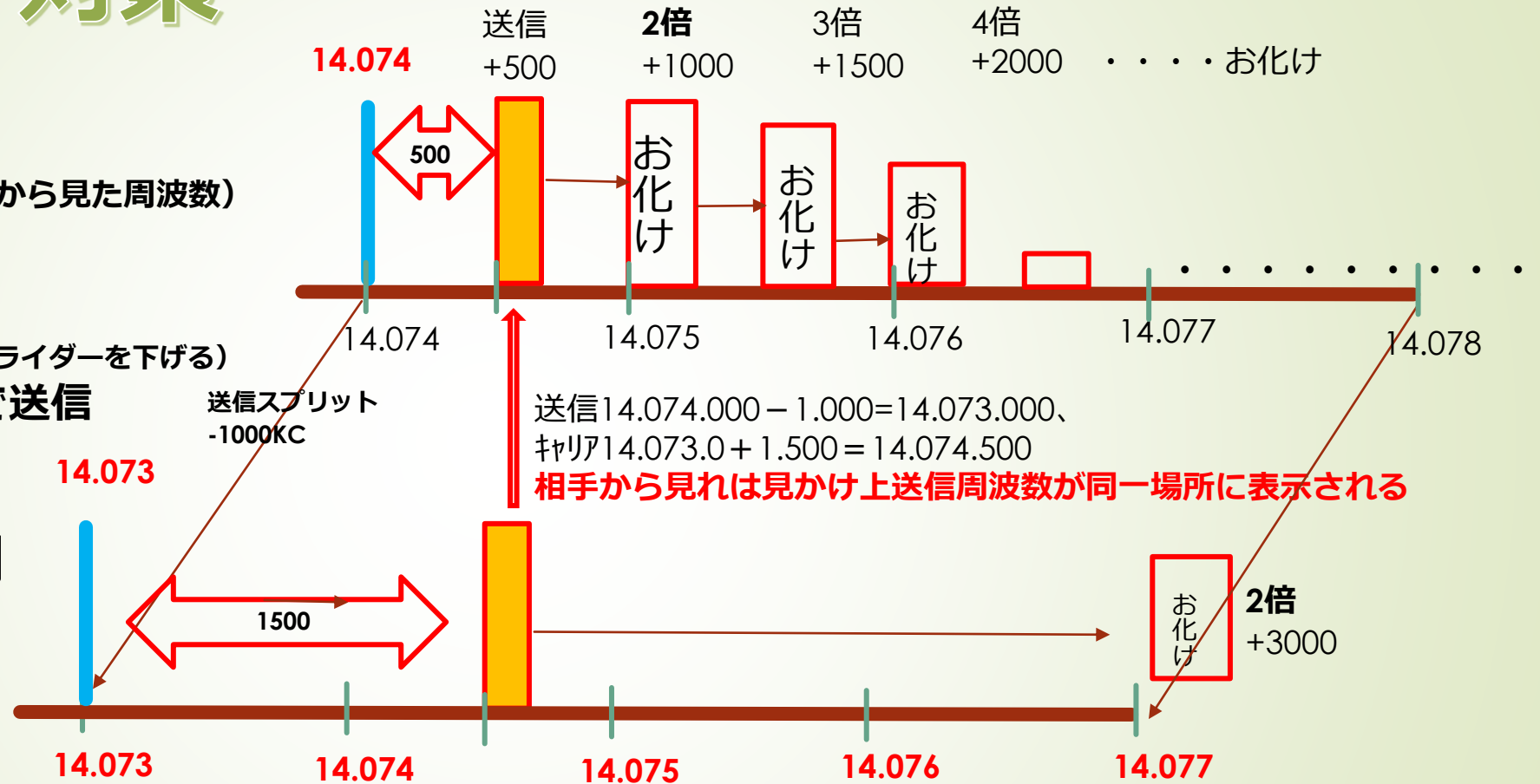
指定なし送信例 (受信者側から見た周波数)



お化け対策

ALCを振らせない (左のスライダーを下げる)
下のスプリットモードで送信

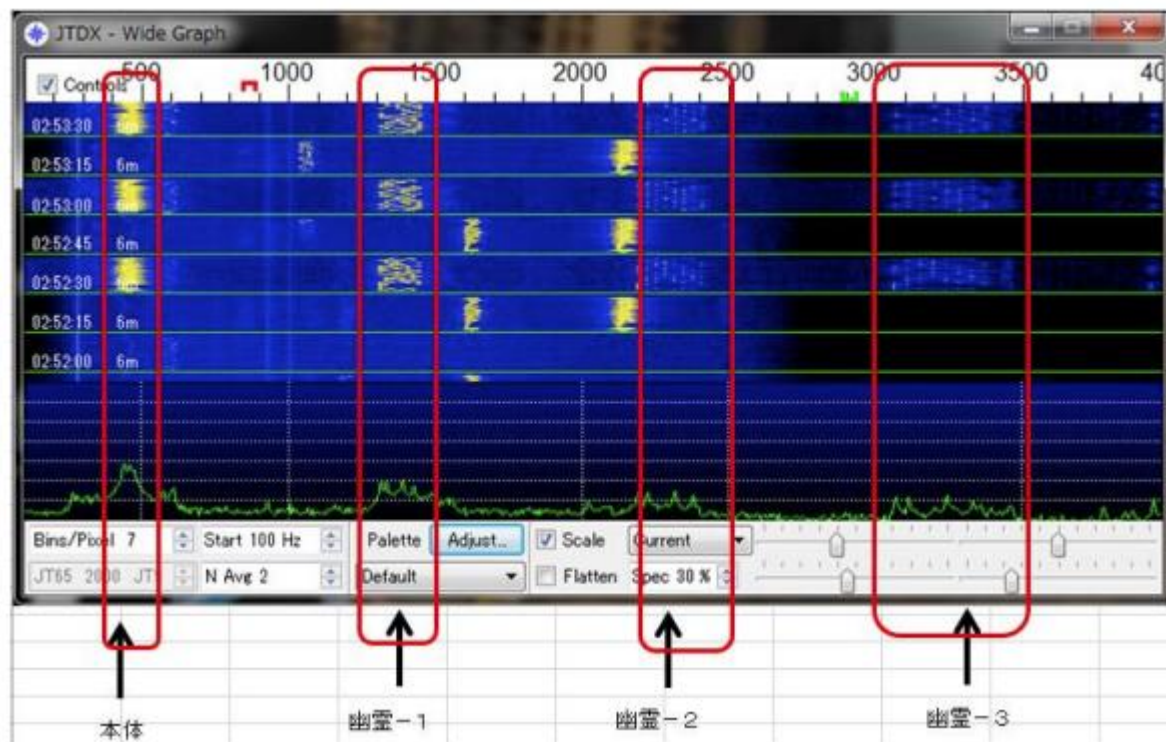
フェークイット送信例 (リグ) スプリット



リグの送信周波数を次によりシフトしてデータの周波数が1500~2000 K h z となるように自動調整
 (1500Khz) 以下は-マイナスシフト (500k単位で調整)
 (1500Khz~2000Khz) シフト調整無
 (2000Khz) 以上は+プラスシフト (500k単位で調整)

お化け対策-2

ほとんどの局がスプリット仕様としているため最近はお化けは少なくなってきました。



正しい変調とオーバー変調



正常(通常運用時)ALC振れなし



← または、リグ側で調整

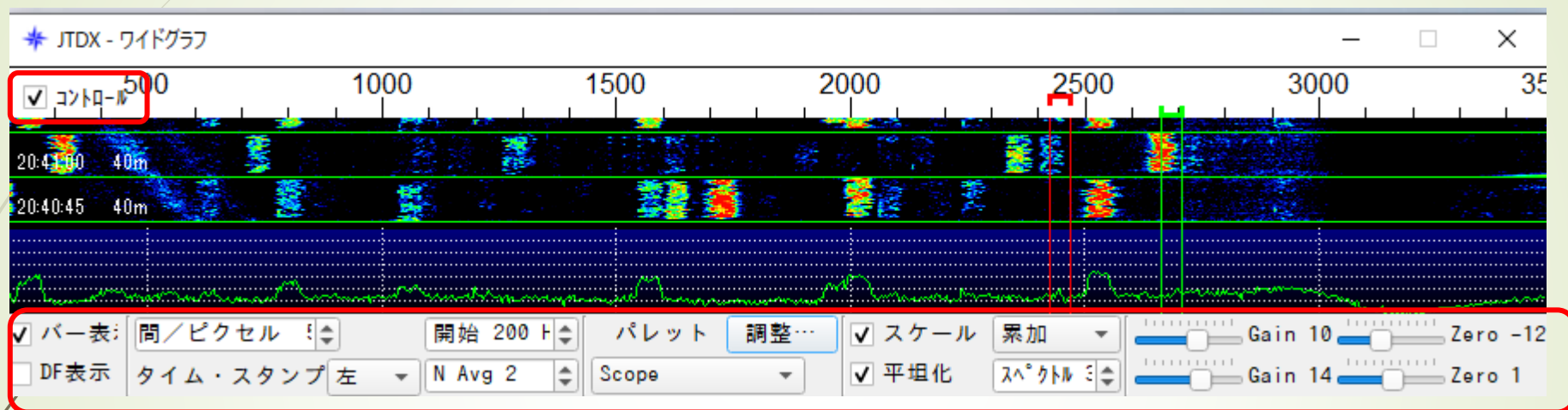
パワーは幾分上がるがALCオーバーとなる



オーバー文字となり相手からのデコードDBが下がります。
考え方はSSBでの交信と同じです。

徐々に高調波は弱くなるが幅が広がります。
これにより弱い局はデコードできなくなります。
その局のコールサインがデコードのたびに4か所見えています。

J T D X 運用設定



送信周波数：右クリックで変更
受信 " " : 左 " "

ウォーターフォールしたのコントロールで画面の色や幅などが変更できます。

ヘテリジョン局設定

J T D X 設定

全般 無線機 オーディオ 順序 Tx マクロ レポートング **周波数** 通知・色付け フィルタ スケジュール

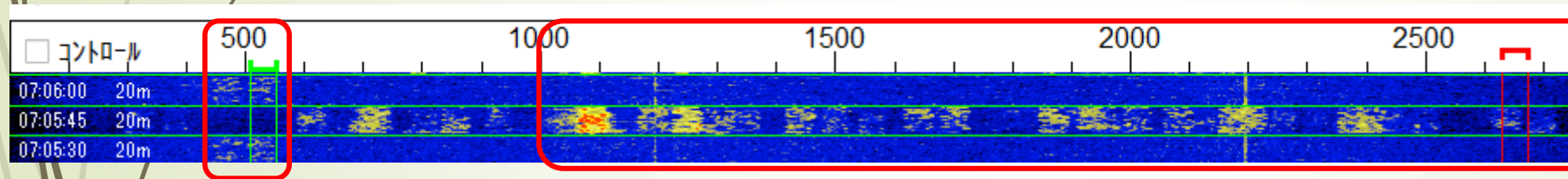
使用周波数

IARU Region	モード	周波数
ALL	FT8	14.071 000 MHz (20m)
ALL	FT8	*14.074 000 MHz (20m)
ALL	FT4	*14.080 000 MHz (20m)
ALL	FT8	14.090 000 MHz (20m)
ALL	FT8	14.091 000 MHz (20m)
ALL	FT8	18.095 000 MHz (17m)

削除
挿入...
読み込み...
名前を付けて保存...
結合する...
リセット

一般の周波数と異なる周波数を使用する機会が多い
(周波数を設定画面より追加)

[*] は基本設定
[] は追加周波数



1 kHz以上でコールします。

073030	-10	0.2	448	~ JS1KKY ZL7/K5WE RR73	ZL7
073045	Tx		2628	~ ZL7/K5WE JA5BGA PM63	
073100	-9	0.2	448	~ JA5BGA ZL7/K5WE -01	ZL7
073100	-8	0.2	508	~ VK4EW ZL7/K5WE +07	ZL7
073115	Tx		448	~ ZL7/K5WE JA5BGA R-09	
073130	-9	0.2	508	~ VK4EW ZL7/K5WE RR73	ZL7
073130	-9	0.1	449	~ JA5BGA ZL7/K5WE RR73	ZL7
073200	-14	0.2	508	~ CW4SKA ZL7/K5WE -11	ZL7

判断は1kHz以下でDX局のコールサインが2波以上見える場合は注意

応答があれば自局の送信が1kHz以下に自動的にシフトされてAUTOTXで送信

2628kcでコール → 448kcにシフト

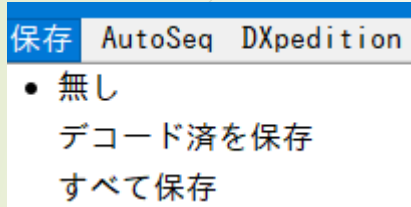
F/Hモードに設定する必要がある
FOX局 1kHz以下で複数波出力
HOUND局 1kHz以上でHound
モードにしてコール

Hound以外でコールしてもつながりません

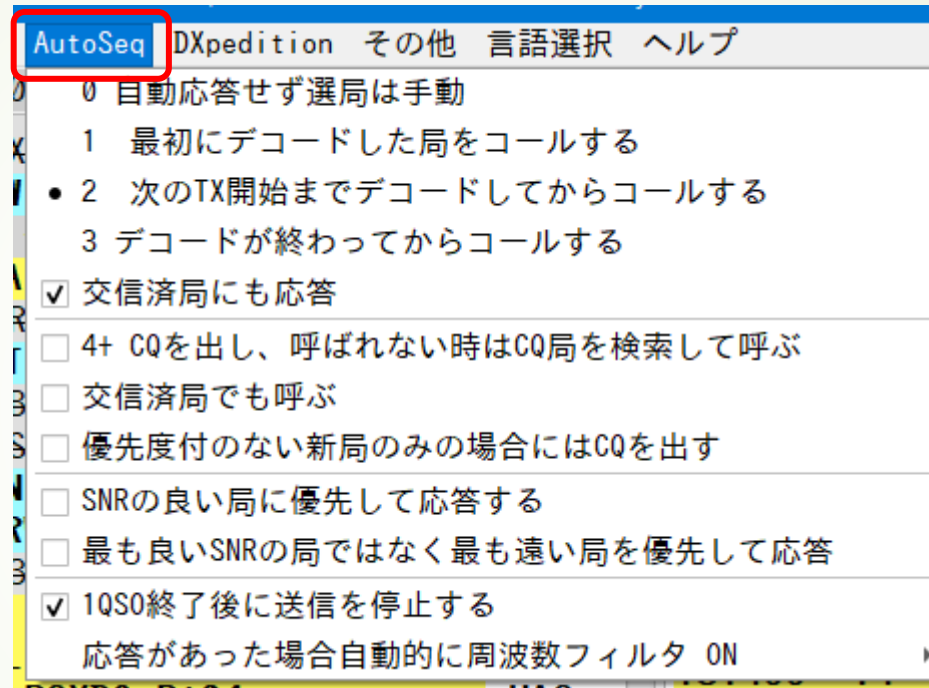
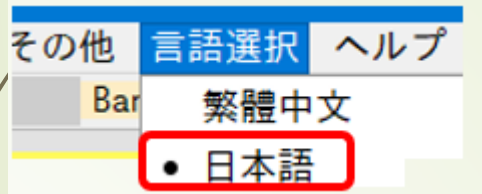
Hound
AutoTX
AutoSeq2

JTDX運用設定

よく使用するボタン、設定、等

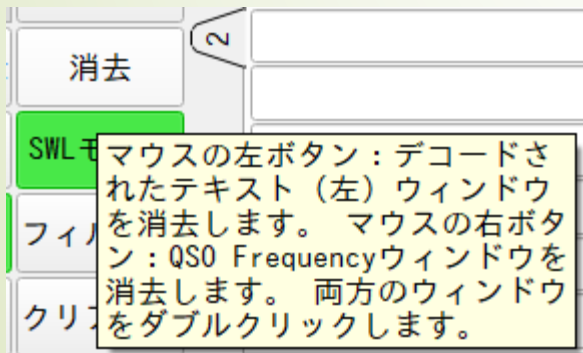
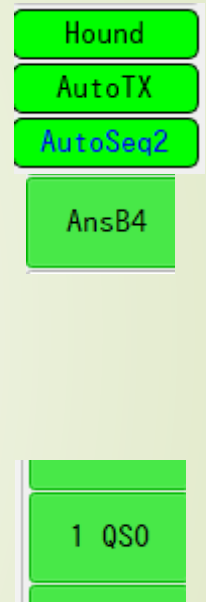


保存をするとかなりの量がディスクを保存されます



どちらで設定しても可能

プルダウンボタンと連動



このようにヘルプが出ますのでこれらを確認してください。

J T D X のダウンロード

<https://sourceforge.net/projects/jtdx/>

SOURCEFORGE
Open Source Software Business Software Resources
Home / Browse / jtdx
jtdx
JTDX
Brought to you by: arvoj, igorchernikov
★★★★★ 2 Reviews Downloads: 2
Download Get Updates
Summary Files Reviews
Project Activity

Filesを選択

Name	Modified
Home	
Folder jtdx_2.2.159	2022-03-02
Folder jtdx_2.2.158	2022-02-23

必要なバージョンを選択

Name	Modified
Home / jtdx_2.2.159	
Parent folder	
Folder Microsoft Windows	2022-03-01
Parent folder	

windowsを選択

Folder Hamlib	2022-03-01
Folder 32-bit_audio	2022-03-01
Folder 16-bit_audio	2022-03-01

Hamlibを選択

Folder win64	2022-03-01
Folder win32	2022-03-01

PCに合わせて選択

全般

設定

全般 無線機 オーディオ 順序 Tx マクロ レポートおよびログ設定 周波数 通知・色付け フィルタ スケジューラ 高度設定

自局の詳細

自分のコールサイン: JA5BGA

レポートおよびログ設定
自分のグリッドロケータ: PM63is

IARU Region: All

複合コールサイン局用メッセージの作成 (Type2用): Tx3にその局を

交信記録フィルタリング

現在のコールサインを使う 現在のグリッドを使う

日付/時間 (YYYYMMDDHHMMSS) から始まる交信記録をフィルター

表示

デコードピリオド間に区切り表示 ダークスタイルを使用する

距離をマイルで表示 最新の受信局を上部に表示し下にスクロール

部分的に送られたメッセージを隠す Rx 周波数ウィンドウにTxメッセージ表示

DXCC名を表示 DXCC名ではなく割当プリフィックスを表示

アプリケーションフォント...
デコード局表示用Fontt...

行動・動作

起動時にモニターはオフ

t = 52 sでデコード

送信中のTx 周波数変更を許可

最後に使われた周波数に戻ってモニターする

73の後にCW IDを送信する

Txのウォッチドッグタイマー: 6分

トーン送信時間を調整: 5秒

周期的なCW ID インターバル: 0

OK キャンセル

無線機

▼ ポート (COM と LPT)

- ▶ Prolific USB-to-Serial Comm Port (COM3)
- ▶ Silicon Labs Dual CP210x USB to UART Bridge: Enhanced COM Port (COM4)
- ▶ Silicon Labs Dual CP210x USB to UART Bridge: Standard COM Port (COM5)
- ▶ USB Serial Port (COM6)
- ▶ USB Serial Port (COM7)
- ▶ USB Serial Port (COM9)
- ▶ USB シリアル デバイス (COM8)

- COM3 : IC7800 (BGALOG リグコントロール)
- COM4 : FT101MP (BGALOG リグコントロール)
- COM5 : FT101MP (JTDXリグコントロール)
- COM6 : ローター1コントロール
- COM7 : ローター2コントロール
- COM9 : キャット信号⇒CIVへの変更 (アンテナ切替)
- COM8 : GPS (ポート名=USBシリアルデバイス)

全般 無線機 オーディオ 順序 Tx マクロ レポートリンク 周波数 通知・色付け フィルタ スケジューラ 高度設定

リグ : **Yaesu FTDX-101MP** ホールリンク間隔 : 1 s リグ電源オン リグ電源オフ Sメーター 送信出力

CATコントロール

シリアルポート : **COM9**

シリアルポートパラメータ

ボーレート : **9600**

データビット

デフォルト 7 8

ストップビット

デフォルト 1 2

ハンドシェイク

デフォルト 無し XON/XOFF ハードウェア

制御信号の強制設定

DTR : RTS :

PTT 方法

VOX DTR

CAT RTS

ポート : COM5

PTTポートを共有する

送信オーディオ入力選択

背面/データ端子 前面/マイク端子

モード

指定無し USB Data/Pkt

スプリット操作

指定無し **リグ** Fake It

CATテスト PTTテスト

Tx遅延 : 0.1 s

★ 注意 ★ : リグの設定は

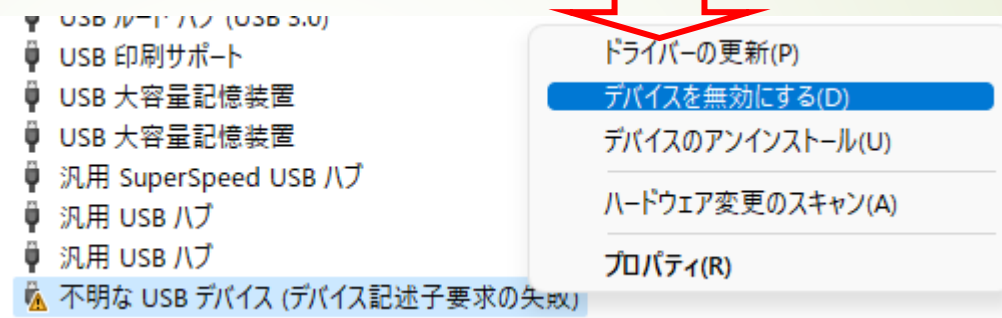
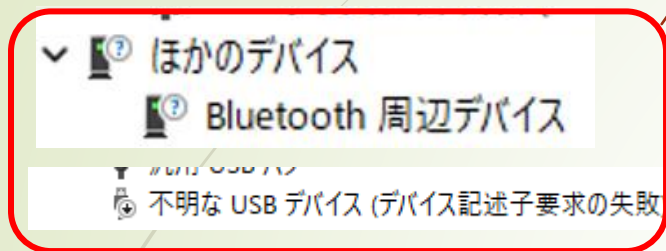
BGALOG中心でCOM4をコントロールをする設定です。(CATをCIVに変換してANTをコントロールしていますので周波数データを取る必要有り)
通常は、JTDXにCOM4を設定してください。

よく失敗する設定部分

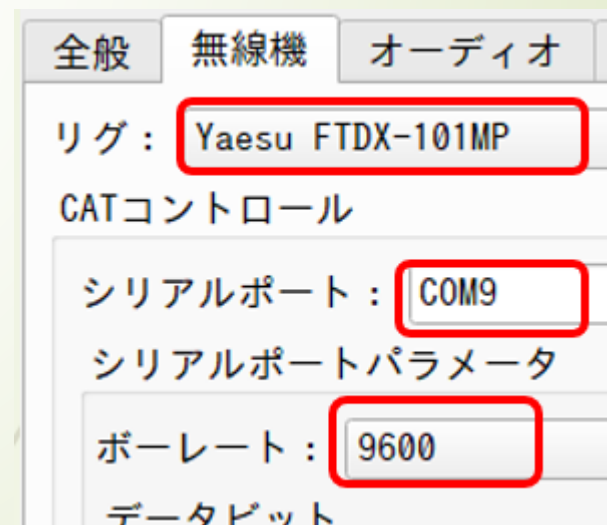
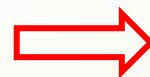
無線機 - 2

このような表示がある場合はPCがデバイスの認識に失敗しています。正しいデバイスを設定してください。

そのまま使用するとPCが正しく動作しない場合があります。どうしても不明な場合はUSBポートを1個ずつ引き抜いていくと確認できます。（正しいデバイスが取得できない場合は「一時しのぎの措置」としてデバイスを無効に設定します。）



PCの設定と合致させておく必要があります。



無線機-3

【PTT方法】をCOMポートとする場合は、リグのシリアルポートとぶつからないようにしてください。（CATの場合は設定不要）

スプリット操作（重要）

高調波（お化け）対策のため「リグ」or「Fake IT」を使用してください。

リグ：無線機のサブ(B)が使用されます。

Fake IT：無線機のメイン(A)が使用されます。

指定なし：高調波によりローカルよりクレームが来ます。

これは、使用している3KC内に第2、3～以上の高調波等を無くすために送信周波数と変調周波数を調整して3KHzの帯域ないに出さないための工夫です。

リグ電源オン リグ電源オフ Sメーター 送信出力

PTT 方法

VOX DTR
 CAT RTS

ポート： COM5

PTTポートを共有する

送信オーディオ入力選択

背面/データ端子 前面/マイク端子

モード

指定無し USB Data/Pkt

スプリット操作

指定無し リグ Fake It

CATテスト PTTテスト

オーディオ

全般 無線機 **オーディオ** 順序 Tx マクロ レポートイング 周波数 通知・色付け フィルタ スケジューラ 高度設定

サウンドカード

リフレッシュ

入力: **ライン (USB AUDIO CODEC)** ▼ モノラル ▼

出力: **スピーカー (USB AUDIO CODEC)** ▼ モノラル ▼

オーディオファイルを保存するフォルダー

保存するフォルダー: C:/Users/ja5bg/AppData/Local/JTDX/save 選択

バンドとモード毎のパワー設定を記憶する

送信 チューン(調整)

注意:

コーデックはF T 8専用として他のデバイス（P Cのサウンド、スカイプ等）と混在させてはいけません。

設定を誤るとP T Tが入るが電波が出ない、モニターするがデコードの信号が入らないなどの症状が出ます。

順序・TXマクロ (省略)

全般 無線機 オーディオ 順序 Tx マクロ レポートインク

何回同じメッセージを送信するかの設定

リトライ用カウンター。デコードされたメッセージを探し、設定回

- CQに应答したが反応無い場合呼び続ける回数 2 回
- CQを出して呼び出しを受けそれに应答する回数 3 回
- レポートを受信してそれに対する应答する回数 3 回
- RRR (RR73) の受信に対してRR73(73)を送る回数 2 回

- 他局への应答があった局への呼び出しを停止
- 指定したCQに対する指定外からの呼び出しは無視する

全般 無線機 オーディオ 順序 Tx マクロ

@ TNX 73
TU ^ 73
@ &
@ #
@ R#

レポートテイニング

BGALOG等の業務日誌などへ「デコードデータ」、「交信済で取込時」に指定のポート等へデータを送ります。この指定でBGALOGは未処理で自動取り込みをします。

全般 無線機 オーディオ 順序 Tx マクロ レポートテイニング 周波数 通知・色付け フィルタ スケジューラ 高度設定

交信記録

- Log QS0 ウィンドウを表示する
- QS0の自動的な記録を可能にする
- RTTYモードへ変更
- dBレポートをコメントに追加する
- 交信距離をコメントに記載
- 記録の後にコールサインとグリッドをクリアする
- DXコールサインとグリッドをクリアして終了

記録されたQS0 ADIFデータを送る

TCPサーバー : 127.0.0.1
TCPポート : 52001
 TCPサーバーへの送信を有効にする

第2UDPサーバー : 127.0.0.1
UDPポート : 2333
 第2UDPサーバーへの送信を許可する

ALL.TXTへのレコーディング

- デコードしたメッセージ
- デコード済とデバッグメッセージ

ネットワークサービス

- eQSLへの送信を有効化
- PSKレポーターへの情報送信を有効化
- DXSummit にスポットを可能化

ユーザーネーム : JA5BGA
パスワード : ●●●●●●●●
QTH アカウント名 : JAPAN

UDPサーバー

UDP サーバー : 127.0.0.1 UDP要求を受け入れる
UDP サーバーポート : 2333 UDP要求があった場合に通知する
 ウィンドウを復元するUDP要求を受け入れる

- 記録されたQS0 ADIFデータを送ることを可能にする
- UDP経由で未確認のコールサインでのスポットを防止
- テキストフィルタをUDPメッセージのトランスミッションに適用

ログへ取り込まない場合は設定不要

TCP (Transmission Control Protocol)

UDP (User Datagram Protocol)

UDP サーバー : 127.0.0.1

UDP サーバーポート : 2333

= 127.0.0.1 : 自分のPCのポート2333へデータを転送の意味です。

周波数

全般 無線機 オーディオ 順序 Tx マクロ レポートング 周波数 通知・色付け フィルタ スケジューラ 高度設定

使用周波数

IARU Region	モード	周波数
Region 1	FT8	*1.810 000 MHz (160m)
ALL	FT8	*1.840 000 MHz (160m)
Region 1	FT8	*1.908 000 MHz (160m)
ALL	FT8	3.567 000 MHz (80m)
Region 3	FT4	
ALL	FT8	
ALL	FT4	
ALL	FT8	
ALL	FT4	
ALL	FT8	

周波数キャリブレーション

インターセプト: 0.00 Hz

スロープ: 0.0000 ppm

削除
挿入…
読み込み…
名前を付けて保存…
結合する…
リセット

ステーション情報

バンド	オフセット	アンテナ説明
-----	-------	--------

FT8としてJTDXに認識させたい場合は「右クリック」で追加（削除）を行います。

通知・色分け

デコード時に表示される色を設定しておけば、DXCCニュー、デュープQSOなどが確認できます。

全般 無線機 オーディオ 順序 Tx マクロ レポートング 周波数 通知・色付け フィルタ スケジューラ 高度設定

『新しいもの』、および『既に交信している』というステータスの通知

<input checked="" type="checkbox"/> 新しいCQ Zoneをチェックして強調表示する	<input checked="" type="checkbox"/> バンド毎	<input type="checkbox"/> モード毎	<input type="checkbox"/> システム音も出して通知
<input checked="" type="checkbox"/> 新しいITU Zoneをチェックして強調表示する	<input checked="" type="checkbox"/> バンド毎	<input type="checkbox"/> モード毎	<input type="checkbox"/> システム音も出して通知
<input checked="" type="checkbox"/> ニューDXCCをチェックしてハイライトを付ける	<input checked="" type="checkbox"/> バンド毎	<input type="checkbox"/> モード毎	<input type="checkbox"/> システム音も出して通知
<input checked="" type="checkbox"/> 新規グリッドをチェックしてハイライトを付ける	<input checked="" type="checkbox"/> バンド毎	<input type="checkbox"/> モード毎	<input type="checkbox"/> システム音も出して通知
<input checked="" type="checkbox"/> 新規プリフィックスをチェックしてハイライトを付ける	<input checked="" type="checkbox"/> バンド毎	<input type="checkbox"/> モード毎	<input type="checkbox"/> システム音も出して通知
<input checked="" type="checkbox"/> 未交信局をチェックしてハイライトを付ける	<input checked="" type="checkbox"/> バンド毎	<input type="checkbox"/> モード毎	<input type="checkbox"/> システム音も出して通知
<input checked="" type="checkbox"/> 交信済局を強調する	<input checked="" type="checkbox"/> 取り消し線	<input type="checkbox"/> 下線を引く	<input type="checkbox"/> 表示しない
<input type="checkbox"/> テキスト/背景色の反転			
<input checked="" type="checkbox"/> 他の標準のメッセージを強調			

自局コールサインにシステム音 最初のデコード時にシステム音

マーカー 他の標準のメッセージ 赤/自局のコールサイン 青色/QSO中の自局のコールサイン ヒントキャラクター非表示

構成のヒント.

送られたメッセージ	K1ABC	メッセージに自局のコールサイン	他の標準のメッセージ
RR73/73	メッセージの中に CQ/73		
新しいCQ Zone	K1ABC	K1ABC	K1ABC
バンド/モード毎のNew CQ Zone	K1ABC	K1ABC	K1ABC
新しいITU Zone	K1ABC	K1ABC	K1ABC
バンド/モード毎のNew ITU Zone	K1ABC	K1ABC	K1ABC
新しいDXCC	K1ABC	K1ABC	K1ABC
バンド/モード毎のNew DXCC	K1ABC	K1ABC	K1ABC
新しいグリッド	K1ABC	K1ABC	K1ABC
バンド/モード毎のNewグリッド	K1ABC	K1ABC	K1ABC
新しいプリフィックス	K1ABC	K1ABC	K1ABC
バンド/モード毎のNewプリフィックス	K1ABC	K1ABC	K1ABC
新しいコールサイン	K1ABC	K1ABC	K1ABC
バンド/モード毎のNewコールサイン	K1ABC	K1ABC	K1ABC
交信済	K1ABC	K1ABC	K1ABC

クリック

フィルター、スケジューラ、高度設定は省略します。

B G A L O Gを使用しているソフト名に変更してください。（ポート監視をしていないログの場合はこの手法は利用できません。）

異なるパソコンとLOG連携

アドレスのみを変更してポートはB G A L O G側に合わせてください。

TCP = 127.0.0.1 ポート = 52001
UDP = 127.0.0.1 ポート = 2333

J T D X等のレポーティングフォルダーを次の様に変更します。

次の様に送り込みたいパソコン（B G A L O G側）のアドレスに変更します。

TCP = 192.168.*.* ポート = 52001（お勧めしていません）
UDP = 192.168.*.* ポート = 2333（全てをこれで接続することをお勧め）

※ J T D Xも最近ではUDP接続が可能となりました。（旧はTCPのみ）
WS J Tは全てUDPで接続します。

相互にアドレスが明確な場合は、いろいろな組み合わせが可能です。

* については、送り先側のパソコンのアドレスを記入します。
固定アドレスがあればインターネット経由でも設定可能です。
その場合は、ルーターの設定を行う必要があります。

別にするメリット

J T D X等の部分とB G A L O Gが同時に検索を行います。
別にする事でCPUの負担の分散が出来ます。



192.168.*.*

レポーティング

UDP サーバー: 127.0.0.1 第2UDPサーバー 127.0.0.1

デコードデータ

QSO交信登録

UDP サーバー: 192.168.*.* 第2UDPサーバー 192.168.*.*
UDP サーバーポート: 2333 UDPポート: 2333
 第2UDPサーバーへの送信を許可する

送信先のソフトが管理しているアドレスと
ポート番号に変更

[127.0.0.1] → [192.168.*.*]
[2333] → [2333]（BGALOGの場合）
[127.0.0.1] は各PCの自分あてのアドレスです。

B G A L O Gでは、J T D X等から [2333] ポートに送られてきた場合は、完全自動でそのデータを自動判別して取り込み処理（登録）します。

IC-7851等の最新機種でのコリジョン（データの衝突）防止：桑原OMのCT-17を利用しての設定方



COMポートの衝突
を避ける
COMポートは共有が不可

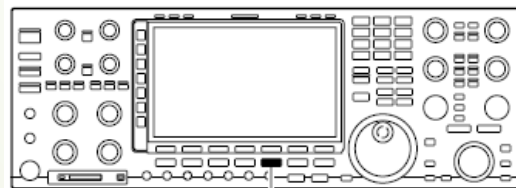


仮想のCOMポートを指定
(BGALOGと逆でもOK)
COM④:JTDX、
COM⑤:PTT

CT-17のCOMポート③を指定
(JTDXと逆でもOK)
BGALOGからはモードのみ要求、周波数はリグ
より自動垂れ流し

[ICT-18 (CT-17) 等]
CI-Vのラインで共有
(COM③:リグコントロール端子)

要変更



CI-V USB Port (初期設定：Link to [REMOTE])

[USB B]ポートのCI-Vポートと[REMOTE]ジャックを本製品内部で接続するかどうかを設定します。

- Link to [REMOTE] :
USBポートのCI-Vポートと[REMOTE]ジャックが本製品内部で接続されます。
- Unlink from [REMOTE] :
USBポートのCI-Vポートと[REMOTE]ジャックが独立した状態で動作します。
(全二重で高速通信できます。)

CI-V USB Echo Back (初期設定：OFF)

[USB B]ポートのCI-Vポートを利用して、本製品を外部コントロールするとき、データをエコーバックするかどうかを設定します。

- OFF : データをエコーバックしない
- ON : データをエコーバックする

※「CI-V USB Port」項目で、Unlink from [REMOTE]を選択したときに動作します。

<3>[9600,N,8,1](IC-&H6A)

▼ ポート (COM と LPT)

- Silicon Labs Dual CP2105 USB to UART Bridge: Enhanced COM Port (COM4)
- Silicon Labs Dual CP2105 USB to UART Bridge: Standard COM Port (COM5)
- USB Serial Port (COM3)

CI-V内に複数の機器からのコールによる衝突（コリジョン）を避ける
1つのライン上に多くのデバイスからの要求が行われますと当然コリジョンを起こしてしまいます。
これを避けるための方法です。
この方法はリグ側で行う必要があります。